

令和6

(1) 国語正答表

						備考欄
5	3	3	4	3	2	20 <small>配点</small>
問五	問四	問三	問二 (二) (一)		問一	第三問
(例) 信念を持って床山の仕事に取り組み、よく知らない自分にも誠実に向き合う床芝への憧れが強まったから。 (四十八字)	いくらなんでも先走りすぎだ	ア	(例) 男が人の髪を結うことは、変な目で見られ、からかわれることだ (二十九字)		腕も気立て ウ	

						備考欄
3	2	2	3	2	2	14 <small>配点</small>
問六	問五	問四	問三	問二	問一	第二問
(例) それてしまった話題を元に戻す (十四字)	エ	イ	(例) 取り組むのであれば (九字)	ウ	ア	

								備考欄 漢字は、点画に過不足がなく、字形の正しさを損なっていないければ正答とする。
2	2	2	2	2	2	2	2	16 <small>配点</small>
問三	問二	問一						第一問
エ	簡潔	⑥ 仲裁 チュウサイ	⑤ 綿密 メンミツ	④ 垂 タ (らす)	③ りんかく 輪郭	② 据す (える)	① つつ 包 (む)	

備考欄						備考欄
20						配点
3	5	3	4	3	2	
問 五	問 四	問 三	問 二	問 一		第 四 問
				(二)	(一)	
ウ	(例) 自分の脳にも未知の可能性があり、芸術家と同じように、世界をとらえることができるということを知った驚き。(五十一字)	五感で感じる世界	(例) 目の網膜に映ったままの、世界の光景を光と色の点に分解した(二十八字)	画風が似ている	工	

備考欄				備考欄
10				配点
4	2	2	2	
問 四	問 三	問 二	問 一	第 五 問
ことをやめた	工	イ	たまいける	(例) 暦どおりに、夏のはじまりの日に鳴くこと(二十三字)

採点の
基準等

20 配点

第六問

△採点の基準▽

- 1 内容及び表現について 15点
グラフから読み取ったことと、それに対する自分の考えが、適切に表現されているか。
- 2 表記について 5点
 - (1) 誤字や脱字はないか。
 - (2) 仮名遣いや送り仮名は正しいか。
 - (3) 漢字、ひらがな、カタカナの使い分けは適切であるか。
 - (4) 句読点やその他の符号の使い方は適切であるか。
 - (5) 原稿用紙の使い方は正しいか。

△留意事項▽

- 採点は、前記の△採点の基準▽1、2によることとするが、次の点についても留意すること。
- (1) 字数が百六十字に満たないものは、総点を10点以下とし、二百字を超えたものについては、その程度に応じて適宜減点する。
 - (2) 表記の誤りについては、前記の△採点の基準▽の2によって適宜減点する。

満点 100 点

(注) 上記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。